

## 実践・森づくり技術講座（森林塾 体験会）

開催日：2019年3月2日（土曜日）

開催場所：鳩ノ巣フィールド（奥多摩町棚沢）

主催者：FIT 森林塾

一文紹介（記載必須）（報告リスト掲載用）

〔4月からスタートする「実践・森づくり技術講座」に先立ち、3月2日に「体験会」を開催いたしました。〕

〔（公開記事）

FIT森林塾では、森づくりの魅力に触れながら、基本的な技術を身に着けていただくために4月からスタートする「実践・森づくり技術講座」に先立ち、3月2日（土）に「森林塾 体験会」を開催いたしました。

（本文）

FIT森林塾では、森づくりの魅力に触れながら、基本的な技術を身に着けていただくために4月からスタートする「実践・森づくり技術講座」に先立ち、3月2日（土）に「森林塾 体験会」を開催いたしました。当日は、早春の暖かい日差しに恵まれ、車窓から杉の花粉が春風になびくレースのカーテンの様に奥多摩の山々を覆っていました。スギ花粉の方には、つらい季節が訪れています。

最初に、自己紹介、準備体操を行った後、安全上の注意事項を共有し、フィールドに入りました。体験会参加の皆さんにはまずフィールドを歩いていただきながら、このフィールドで見られる動植物の紹介や、フィールドの特徴の説明を講師の方々にしていただきました。あわせて、このフィールドにおける森づくりの考え方や活動内容など、森林塾の活動紹介がありました。スギ・ヒノキの人工林の区画では、胸高直径・樹高・枝下高など毎木調査を実施しながら今後の管理の方向性を検討している話が、また落葉広葉樹の区画では、約15年前にFITの先輩方が植栽されたコナラ等の広葉樹が順調に育ち、これらの一部を間伐し、ほだ木として利用したり、コナラ等の実生をフィールドの別のところに植栽している話など、多岐にわたる活動紹介の一端が紹介されました。参加者の皆さん、どの話もとても関心があるようで、熱心に講師の話を聞き入っていました。

また、現在棚沢（薬師堂下）で工事中の砂防ダムの構造、役割を講師より分かりやすく説明を受けました。

お昼をはさんで、ヒノキの間伐体験をしてもらいました。鋸を使って、受け口・追い口を入れるのも、急斜面では思った以上に大変だったようです。メインロープを使って、目標方向に伐倒した後は、参加者・スタッフ全員で皮むき作業を行いました。

この時期の皮むきは、意外とスムーズに剥けました。

ただ、樹木時の枝打ち、材となった時の枝払いを丁寧に作業していないと、この皮むき作業が容易か困難になるの分かれ目を身をもって体験することになりました。

最後に道具の手入れを行い、体験会は無事・怪我無く終了いたしました。

スタッフの役割と名前（記載は任意）：

オリエンテーション・実習（伐木、枝払い、皮むき、運搬、道具使い方、手入れ）：小島

フィールド案内・実習（伐木、枝払い、皮むき、運搬、道具使い方、手入れ）：牧田

フィールド案内・実習（伐木、枝払い、皮むき、運搬、道具使い方、手入れ）：関

受付・会計・救護・写真・記録：芝原  
参加者数 (記載は任意)：2名

報告者名 (記載必須)：芝原 久  
[(合格年度)年 氏名)：30年みわの会：芝原 久



① 挨拶・自己紹介



② フィールド案内



③ 間伐：受け口作業



④ 間伐：追い口作業



⑤ 皮むき



⑥ 道具の手入れ